

令和元年度 雀宮中央小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

- (1) 基本目標
自主・自立の精神と豊かな心をもった、心身共に健康な児童を育成する。
- (2) 具体目標
- 明るく元気でがんばる子ども（元気）
 - 進んで学びよく考える子ども（やる気）
 - 心豊かで思いやりのある子ども（思いやり）
- 合言葉 「元気・やる気・思いやりのある 雀央っ子」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

保護者・地域から信頼される学校づくりを進めるにあたり、「生きる力」の育成を踏まえた学校づくりを目指す。具体的には、「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」を目指すため、教職員は「チーム雀央小」の一員としての自覚をもち、未来ある子供たち一人一人を大切に、教育的愛情あふれる取組を進める。また、「雀央スタンダード」を基に、日々の学校生活において児童が目標をもって生活ができるようにさせる。

教職員が、目の前にいる子供たちを大切に指導・支援を行い、家庭や地域との連携が深まることで、「地域とともにある学校づくり」を目指したい。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

学校教育目標及び具体目標の実現に向け、教職員間でビジョンを共有するとともに、家庭・地域にも情報を発信し、学校・家庭・地域が一体となり、創意ある教育活動を展開することを目指す。また、教職員一人一人が「チーム雀央小」の一員としての自覚をもち、児童一人一人を大切に、子どもの未来を実現するために、誠意と教育的愛情をもって特色ある学校経営の推進にあたる。

- (1) 全職員が学校経営参画意識をもち、情報や課題を共有するとともに信頼と協力による相互補完に努め、より良い雀央小の実現を目指す。
- (2) 互いに磨き合い、教職員の指導力と専門性の向上を図り、確かな学力の向上を目指す。
- (3) 教職員自らが人権感覚の醸成に努め、人間尊重の理念を基盤に、生命尊重の精神と他人を思いやる心をもった児童の育成を目指す。
- (4) 明るく潤いのある教育環境の整備を促進し、豊かな情操と感性をもった児童の育成を目指す。
- (5) ○地域学校園を推進し、学校間交流や地域人材の活用など学校・家庭・地域が一体となり、教育活動の充実を図るとともに、積極的に情報を発信し、開かれた学校づくりを推進する。
- (6) 教職員一人一人の役割を明確にすることにより、協働して取り組む意識を高め、チームとして活気ある学校を目指す。
- (7) 教職員の働き方改革では、毎日の退勤時刻や月1回のリフレッシュデーの設定を行うことにより、勤務時間を意識した働き方を進める。また、教職員一人一人がタイムマネジメントを行うことができるようにすることで、効率的に時間を活用する力を身に付ける。

〔雀宮地域学校園教育ビジョン〕

一人ひとりが自らの良さを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成
～ いきいきとした活動を通して ～

4 教育課程編成の方針

第2次宇都宮市学校教育推進計画である「うつのみや「いきいき学校」プラン」及び「第2次宇都宮市学校教育スタンダード」等の示すところに従うとともに、本校教育目標、学校経営方針、今年度の努力点などを十分踏まえて編成をする。

知・徳・体の調和のとれた児童の育成を目指す教育課程編成をする。特に、確かな学力・心の教育・健康で安全な生活を送るための資質・能力を身に付けることができる編成に努める。

学校と地域の共通理解のもと、連携・協働する仕組みづくりの実現に向けて取り組むことができるようにする。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

- ・ 学校・家庭・地域が一体となり創意ある教育活動を展開することを目指し、教職員一人一人が「チーム雀央小」の一員としての自覚をもち、児童一人一人を大切に、誠意と教育的愛情をもって取り組む。（ほめてのばす教育の実践）
- ・ 教職員一人一人の役割を明確にすることにより、協働して取り組む意識を高め、チームとして活気ある学校を目指す。

【学 習 指 導】

- ・ 確かな学力を身に付けさせるために、「分かる授業づくり」を進める。そのためには、次の5つのポイントを教職員が一丸となって取り組む。
 - ①ねらいが明確になっている授業
 - ②ねらいを実現するための手立てが明確になっている授業
 - ③児童一人一人の実態等に応じた指導がなされている授業
 - ④ねらいが実現されたかどうか適切に評価されている授業

⑤評価が次の授業改善に生かされている授業 - 主体的な学びを促すことができるよう、導入や発問を工夫する。学習の流れを黒板に提示する。 - 本校の算数科の授業の流れを他教科にも生かし、教師の授業力向上につなげる。 ○基礎・基本の定着を図るため、雀宮地域学校園で取り組んでいる「百ます計算」や本校独自の「漢字チャレンジ週間」を実施する。 - 読書活動の充実を図るため、朝の読書タイムを設けたり多読者を表彰したり、読み聞かせボランティアとの連携を図ったりする。また、児童会の図書委員会による「本の紹介」を給食の時間を利用して放送し、本に興味を持たせる工夫をする。 「雀央スタンダード」を基に共通理解を図りながら、学習の基礎・基本を身に付けさせるようにする。 【児童生徒指導】 ○雀宮地域学校園との連携による地域ぐるみの「あいさつ運動」を積極的に推進し、「いつでも、どこでも、だれにでも、何度でも、元気に、明るく」あいさつのできる児童の育成を目指す。 ○児童のよさや努力したことを認め励まし、児童が自己肯定感や自己有用感を高められるよう教職員一人一人が同一歩調で指導・支援にあたることを目指す。 - 校内支援委員会を中心として、全校的な支援体制を確立させるとともに、家庭や地域、関係機関と連携した支援体制の充実を図る。 「雀央スタンダード」を基に共通理解を図りながら、基本的な生活習慣を身に付けることができるよう指導・支援を進めていく。 【健康（保健安全・食育）・体力】 ○体育科年間指導計画に基づいた授業の実践に努めることで、基礎的・基本的な技能の習得により、体力の向上や運動への関心を高めることができる児童の育成を目指す。 ○「3（食・色）キャンペーン」などを通して食に対する興味関心を高めたり、ランチルームでの会食などを通して望ましい食習慣を身に付けさせたりする。また、お弁当の日などで実践したことを「食育ファイル」にまとめる。 - 雀央タイムで、運動する楽しさや体力の向上を目指した取り組みを進める。 - 家庭や地域との連携を図り、登下校の安全、災害による安全確保（自然災害など）において、地域ぐるみで児童を見守る体制の強化に努める。 「雀央スタンダード」を基に共通理解を図りながら、廊下の歩行・清掃・食事のマナーを身に付けさせることができるようにする。	
--	--

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価								
目指す児童	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 基本的な学習態度や学習技能の習得を図るための手立てを、全学級で行う。 (1) 発達段階に応じた「発表の仕方」のポイントの掲示 (2) 小集団学習の効果的な活用 (3) 話合いの観点の提示、発表の場の工夫	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児童</th></tr><tr><td>96.8</td><td>95.4</td><td></td><td>92.2</td></tr></table> 数値指標を大きく上回り、また、昨年度と比較しても 5 ポイント以上上回っており十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していくとともに、話合いの観点を具体的に提示し、話合いがより活発になる手立てをしていく。	教職員	保護者	地域住民	児童	96.8	95.4		92.2
	教職員	保護者	地域住民	児童								
96.8	95.4		92.2									
A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもってやさしく接している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 道徳の時間の指導を要として、思いやりのある豊かな心情を育成する。 2 縦割り班による児童会活動や清掃活動をはじめ、異学年集団による活動を取り入れ、上級生が下級生の面倒をみることを通して、思いやりの心が醸成されるようにする。	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児童</th></tr><tr><td>93.8</td><td>92.3</td><td>100</td><td>94.4</td></tr></table> 保護者、児童ともに数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児童	93.8	92.3	100	94.4	
教職員	保護者	地域住民	児童									
93.8	92.3	100	94.4									

の 姿	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、きまりやマナーを守って生活をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 基本的な生活習慣育成の徹底を図るとともに、規範意識を高める指導の充実を図る。 (1) 「雀央スタンダード」に基づいた全校体制による指導の徹底 (2) 生活目標の設定による、目標を焦点化した指導の展開 (3) 朝の打合せ時に行う児童指導に関する情報交換の活用	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>100</td><td>93.5</td><td>100</td><td>92.3</td></tr></table> 教職員、児童ともに数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	100	93.5	100	92.3
	教職員	保護者		地域住民	児 童							
	100	93.5	100	92.3								
	A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 ○児童会活動を中心に地域と連携し、あいさつ運動の積極的な推進を図るとともに、取組を発信していく。 (1) 年2回の地域学校園あいさつ週間の取組の充実 (2) 児童会、あいさつ隊によるあいさつ運動の展開 (3) 教師の率先垂範による日常的なあいさつ指導の推進	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>90.9</td><td>82.2</td><td>100</td><td>96.0</td></tr></table> 教職員、保護者ともに数値指標を上回った。教職員、児童に関しては昨年度よりポイントは下がったが、あいさつの「時と場」の意識が高まった結果ととらえられる。 【次年度の方針】 学級の指導の中で、地域へのあいさつの仕方の具体的な方法を指導していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	90.9	82.2	100	96.0
教職員	保護者	地域住民		児 童								
90.9	82.2	100	96.0									
A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は夢や希望に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 ○児童の自己肯定感や自己有用感を高められるよう、教職員による認め励ます指導や児童同士の認め合う場の設定を行う。 2 ○「100 ます計算」や「漢字チャレンジ週間」、各種検定等に児童が各自の目標をもって取り組めるよう支援する。	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>100</td><td>77.4</td><td></td><td>90.5</td></tr></table> 児童は数値指標を大きく上回った一方、保護者は数値指標を下回った。本市全体でも同様の傾向がみられることから、目標に向かってあきらめずに粘り強く取り組むことを保護者が重視しているのととらえることができる。 【次年度の方針】 ピカイチカードの積極的な活用により自己肯定感や自己有用感を高めたり、様々な場面で一人一人が目標を明確に持てるような支援を積極的に実践していく。また、学校で児童が粘り強く取り組んでいることを学校だよりや学年だより等を通して保護者に知らせるようにしていく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	100	77.4		90.5	
教職員	保護者		地域住民	児 童								
100	77.4		90.5									
A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 交通安全教室や避難訓練を計画的に実施することにより、危険予測や危機を回避する意識の高揚を図る。 2 保健だよりや児童指導だよりといった各種便りの配付により、健康や安全に関する意識を高める。	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>100</td><td>88.5</td><td>92.9</td><td>95.2</td></tr></table> 児童、保護者ともに数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	100	88.5	92.9	95.2	
教職員	保護者		地域住民	児 童								
100	88.5	92.9	95.2									

A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 全体アンケート 「私は夢や希望に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1「雀央サミット」への参加や、サミットで決定した各地区での取組への積極的な参加を促すことを通して、社会貢献への意識を高める。 2 宮・未来キャリア教育年間指導計画に基づき、夢や目標の実現意欲を高めたり、勤労観・職業観の育成を図ったりする。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>100</td><td>77.4</td><td></td><td>90.5</td></tr></table> 児童は数値指標を大きく上回った一方、保護者は数値指標を下回った。本市全体でも同様の傾向がみられることから、保護者が社会参画や社会貢献を重視しているのととらえることができる。 【次年度の方針】 宮・未来キャリア教育の指導計画に基づき、夢や目標の実現意欲を高める指導を意図的に行ったり、「雀央サミット」への参加を通じた社会貢献意識の高揚を一層図ったりする。また、学校 HP にサミットの活動内容などの掲載をし、保護者への啓発をさらに図っていく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	100	77.4		90.5
教職員	保護者	地域住民	児 童							
100	77.4		90.5							
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、外国語活動（英語）の授業や ALT との交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 教員と ALT の打合せを綿密に行い、ALT を効果的に活用した授業が展開できるようにする。 2 ALT と日常的に触れ合える機会を増やす。 ・各教室での給食 ・清掃活動への参加 ・クラブ活動への飛び入り参加 など	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>100</td><td></td><td></td><td>89.7</td></tr></table> 数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していくとともに、授業以外でも ALT や英語に触れることができる場の設定をさらに工夫していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	100			89.7
教職員	保護者	地域住民	児 童							
100			89.7							
A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 生活科や社会科、総合的な学習の時間において、地域や宇都宮の良さを学べる授業を展開する。 2 ○「雀宮の日」に合わせて、地域学校園で統一した取組や、児童会の集会活動を実施する。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>71.9</td><td>61.8</td><td></td><td>85.5</td></tr></table> 児童の肯定的回答は数値指標を上回っているが、教職員や保護者の肯定的回答は 80% を下回っている。市全体でも同様の傾向が見られ、教職員や保護者と児童の意識の差が大きい。 【次年度の方針】 雀宮地区のよさに触れるこれまでの指導に加え、次年度から始まる「宇都宮学」の年間指導計画に基づき指導の充実を図っていく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	71.9	61.8		85.5
教職員	保護者	地域住民	児 童							
71.9	61.8		85.5							
A 10 児童は、ICT 機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は ICT 機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 各教科、領域の授業において、パソコンやインターネットを効果的に活用した授業を展開する。 2 担任が学校図書館司書と連携したり、公立図書館の蔵書を活用したりするなどして、調べ学習や読書指導が効果的にできるようにする。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>90.3</td><td>74.9</td><td></td><td>85.6</td></tr></table> 児童の肯定的回答は数値指標を上回っており、おおむね満足できる結果となった。しかし保護者の肯定的回答は 80% を下回っており、ICT の活用能力を高めることへの期待の表れととらえられる。 【次年度の方針】 引き続き、従前からの具体的な取組を着実に実践することに加え、学校での取り組み状況を学校便り、学年便り等で保護者に周知していくと共にプログラミング教育の実施を確実にい保護者の理解を深めていく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	90.3	74.9		85.6
教職員	保護者	地域住民	児 童							
90.3	74.9		85.6							

目指す学校の姿	A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもってやさしく接している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 地域高齢者をボランティアティーチャーとした「昔遊び」や「火起こし体験」などの授業を設定し、交流を行う。 2 道徳の時間の指導を通して、生命や人権を尊重する心の涵養を図る。	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>93.8</td><td>92.3</td><td>100</td><td>94.4</td></tr></table> 児童、保護者ともに数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	93.8	92.3	100	94.4
	教職員	保護者	地域住民	児 童								
	93.8	92.3	100	94.4								
	A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について関心をもっている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 社会科や総合的な学習の時間、委員会活動の指導を通し、環境問題への意識を高める。 2 火災や竜巻などの避難訓練の事前指導を通して、防災意識を高める。	A	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>51.6</td><td></td><td></td><td>89.8</td></tr></table> 教職員の肯定的回答は数値指標を大きく下回った。 【次年度の方針】 小学校段階における「持続可能な社会」についての指導を確認し、児童の発達段階に応じた指導を展開する。	教職員	保護者	地域住民	児 童	51.6			89.8
教職員	保護者	地域住民	児 童									
51.6			89.8									
B1 児童は家庭学習の習慣が身に付いている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、宿題や自主学習などを行う学習習慣が身に付いている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 雀央スタンダードを活用し、児童の発達段階を踏まえた家庭学習の推進を図る。	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>93.5</td><td>86.7</td><td></td><td>90.2</td></tr></table> 教職員、保護者ともに数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	93.5	86.7		90.2	
教職員	保護者	地域住民	児 童									
93.5	86.7		90.2									
A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 校内支援委員会などの機会を通して教職員間の情報共有を図り、教職員が同一の歩調で支援できるようにする。 2 外部の関係機関との連携を密接に行っていく。	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>96.8</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	96.8				
教職員	保護者	地域住民	児 童									
96.8												
A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 全校体制による組織的ないじめ防止策の推進を図る。 (1) いじめゼロ強調月間での取組 (2) 学校だより・学年だより・児童指導だより等を活用した、いじめ撲滅推進のための各種取組の積極的な発信	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>100</td><td>79.2</td><td>100</td><td>99.0</td></tr></table> 児童の肯定的回答は、数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。しかしながら、保護者の肯定的回答が80%を下回っており、取組が十分に理解してもらえない。取組の発信の方法を工夫する必要がある。 【次年度の方針】 いじめ防止のための取組をより理解してもらうようにするために、いじめゼロ集会の録画を授業参観や学級懇談の際に放映するなど、発信の方法を工夫・改善していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	100	79.2	100	99.0	
教職員	保護者	地域住民	児 童									
100	79.2	100	99.0									

A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、一人一人の児童を大切にし、児童がともに認め励まし合う学級づくりを行っている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 ○児童のよさを認め、称賛したり励ましたりする指導を心がけることで、児童の自己肯定感を高める。 2 児童全員との教育相談期間「おしゃべりタイム」を実施する。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>96.9</td><td>93.8</td><td></td><td>96.4</td></tr></table> 数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。（ピカイチカードは継続）	教職員	保護者	地域住民	児 童	96.9	93.8		96.4
教職員	保護者	地域住民	児 童							
96.9	93.8		96.4							
A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 外国人児童に関しての情報共有をし、必要に応じた支援や関係機関との連携を行う。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>96.8</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	96.8			
教職員	保護者	地域住民	児 童							
96.8										
A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート 「学校全体に活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 80%以上	1 学年・学級経営計画に基づいた、意図的・計画的な指導を通して、明るく、活力のある学級づくりを目指す。 (1) 雀央スタンダードの活用 (2) Q-U 検査の効果的な活用 2 児童会活動や学校行事の工夫・改善を通して、児童の主体的な活動の場を確保し、楽しく、活気あふれる学校づくりを目指す。 (1) 縦割り班活動の工夫・改善 (2) 行事運営への児童の参加促進	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>97.0</td><td>94.7</td><td>100</td><td>91.2</td></tr></table> 保護者、地域住民ともに数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となったが、児童の数値は昨年度より約 5 ポイント下がっている。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していくとともに、一人一人が活躍できる場を設定し、「いがいのある学校」づくりを目指す。	教職員	保護者	地域住民	児 童	97.0	94.7	100	91.2
教職員	保護者	地域住民	児 童							
97.0	94.7	100	91.2							
A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「教職員は、児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細かな指導をしている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 基本的な学習内容の確実な習得を目指した「分かる・できる授業」「学び合う授業」づくりを推進する。 (1) 単位時間及び単元の指導の工夫改善 ・ ねらいの明確化 ・ 「めあて」「まとめ」「振り返り」の流れを意図した、指導法の工夫・改善 (2) 「一人一授業」実践による指導法の工夫・改善 2 児童一人一人の学習状況を的確に把握し、個に応じたきめ細かな指導を充実させる。 (1) 少人数指導やT.Tによる指導の工夫・改善 (2) かがやきルームや振り返り学習における、担任と指導者の情報交換を密にした、個別指導の充実 (3) 個に応じた教材の開発・活用	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>96.8</td><td>87.8</td><td></td><td>95.0</td></tr></table> 児童、保護者ともに数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	96.8	87.8		95.0
教職員	保護者	地域住民	児 童							
96.8	87.8		95.0							

A 19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 情報の共有・状況の共有を積極的に図り「チーム雀央小」の一員であることをより自覚できるようにする。 (1) 打合せ用紙の配付による毎朝の連絡 (2) ミニ支援委員会・ミニ対策会議の実施	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>97.0</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	97.0			
教職員	保護者	地域住民	児 童							
97.0										
A 20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 各自が出退勤記録を打刻することや、退勤目標時刻を職員室に表示したり、毎月リフレッシュデーを設定したりすることで、効率的な業務遂行及び勤務時間管理の意識化を図る。 2 教職員の負担軽減に向け、前例にとられず、スクラップ＆フォーカスを進める。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>93.8</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	93.8			
教職員	保護者	地域住民	児 童							
93.8										
A 21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は小学生や中学生が交流する活動を行っている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「学校は小学校と中学校が連携した小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 ○地域学校園による「小中一貫教育実施計画」に基づき、中学校との円滑な交流を推進していく。 (1) 全体会・各部会・分科会実施 (2) 地域学校園「あいさつ運動」年2回 (3) 「宮っ子チャレンジウィーク」受け入れ（中学生職業体験） (4) 地域学校園内小中合同による南図書館清掃 2 取組について保護者、地域へ積極的に情報発信を行う。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>93.9</td><td>82.5</td><td>100</td><td>87.9</td></tr></table> 児童、保護者ともに数値指標を上回っているが、昨年度と比較すると各々約5ポイント下がっている。小中一貫の取組が定着してきたことやこれまでの成果を踏まえて取組を精選したことが原因として考えられる。 【次年度の方針】 雀宮地域学校園としての実施計画に基づき、引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。また、小中一貫の活動であることを児童に意識づけするとともに、活動の様子を各種たより等で発信していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	93.9	82.5	100	87.9
教職員	保護者	地域住民	児 童							
93.9	82.5	100	87.9							
A 22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 地域協議会を通して授業ボランティアを募集したり、予め学校ボランティアを登録しておいたりする。 2 企業や専門家による各種出前授業等を計画的に活用する。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>100</td><td>89.5</td><td>100</td><td>92.8</td></tr></table> 数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	100	89.5	100	92.8
教職員	保護者	地域住民	児 童							
100	89.5	100	92.8							
A 23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 「雀央サミット」を通した、児童から自治会・育成会と児童との相互の意見交流を通して、地域や家庭との連携を図る。 2 地区市民センターや地域主催の行事への参加を奨励する。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>100</td><td>89.5</td><td>100</td><td>92.8</td></tr></table> 数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となったが、保護者の数値は昨年度のものより約4ポイント下がっている。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していくとともに、「雀央サミット」等の意義や効果を内外にアピールし、より効果のある教育活動を実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	100	89.5	100	92.8
教職員	保護者	地域住民	児 童							
100	89.5	100	92.8							

A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 月例の安全点検により、危険個所の早期把握・早期対応に努める。	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>100</td><td>91.8</td><td>100</td><td></td></tr></table> 児童、保護者ともに数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	100	91.8	100	
教職員	保護者	地域住民	児 童								
100	91.8	100									
A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、I C T 機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 児童が I C T 機器を活用する授業を意図的・計画的に実践する。 2 図書選定委員会を開催し、計画的な図書の購入に努める。	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>90.3</td><td>74.9</td><td></td><td>85.6</td></tr></table> 児童の肯定的回答は数値指標を上回っており、おおむね満足できる結果となった。しかし保護者の肯定的回答は 80%を下回っており、I C T 機器や図書の充実を望んでいることがわかる。 【次年度の方針】 今あるハードを十分に活用し、具体的な取組を着実かつ効果的に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	90.3	74.9		85.6
教職員	保護者	地域住民	児 童								
90.3	74.9		85.6								
B2 教職員は、資質・能力の向上のため、進んで研鑽している 【数値指標】 学校独自アンケート 「教職員は、資質・能力の向上のため、進んで研鑽している。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 校内研修の活性化を図る。 (1) 1人1授業の実践 (2) 小グループでの協議を取り入れた授業研究会 (3) 自主授業公開実施の奨励 2 外部研修への参加を奨励する。	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>100</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	100			
教職員	保護者	地域住民	児 童								
100											

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

27の評価項目中24項目で肯定的回答の数値指標を上回ったことから、本市が目指す「児童の姿」「学校の姿」についておおむね適切な取組が行えたと考えます。中でも次の12項目は、全評価対象者とも90%超の肯定的回答となり、十分満足できる結果となった。(Aは本市共通の評価項目、Bは本校独自の評価項目)

- ・ A1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。
- ・ A2 児童は、思いやりの心をもっている。
- ・ A3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。
- ・ A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。
- ・ A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。
- ・ A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。
- ・ A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。
- ・ A17 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。
- ・ A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。
- ・ A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。
- ・ A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。
- ・ B2 教職員は、資質・能力の向上のため、進んで研鑽している。

【課題】

以下の3項目が、数値指標を下回った。

- ・ A5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。(保護者回答)
- ・ A7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。(保護者回答)
- ・ A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。(教職員回答)

いずれも、児童の関心・意欲・態度に関わるものであるが、児童と保護者、児童と教職員のとらえに差がある。児童の将来を見据えた指導を工夫していく必要がある。

7 学校関係者評価

- ・ 社会・保護者のニーズが多岐にわたっている中で、学校の努力が感じられる。
- ・ 教員の肯定的回答が下がった項目は、先生方の真剣な取組みの裏返しなのではないか。
- ・ 学校での実践はしているが、保護者や地域関係者の評価が低い項目は、学校への期待が大きい点でもあるかもしれない。時と場に応じたあいさつなどについては、保護者や地域関係者が自分たちも十分行えていないと感じている部分なのではないかと思う。
- ・ いじめについては、先生同士のいじめの報道などの影響があるのではないか。1年間学校に出入りしてみて、本校に特にいじめが多いという雰囲気は感じない。
- ・ 「宇都宮のよさ」は、6年生が総合的な学習の時間に学習している「We love 雀宮」が雀宮のよさを学ぶ良い取組である。それをきっかけに宇都宮全体のよさを知ることにつなげてもらえればと思う。
- ・ ICTの導入・活用は積極的に進めてほしい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

昨年度と比較して肯定的回答の割合が下がった項目もあるが、多くの項目で数値指標を達成した。今年度も学校の取組を保護者や地域住民が理解して協力をしていただけているからこそであると考えます。

子どもと向き合う時間の確保のため、「教員の働き方改革」が推進されている現在、地域の教育力の活用は不可欠である。次年度も、雀央小の児童のためになる取組について発信し、保護者・地域の協力のもと円滑な学校経営ができるよう努めたい。